

# 欠員の補充をしろ！

## 相次ぐ交通死亡事故、郵便物の放棄・隠匿 根本原因は圧倒的な人員不足にある！

### みんなの力を合わせて職場を変えよう

直ちに欠員の補充を！

年末始繁忙お疲れさまです。

昨年、全国で相次ぐ交通死亡事故、さらに郵便物の放棄・隠匿が問題になりました。

こうした職場の状況を生み出した根本原因は、郵政民営化にあります。儲け優先の競争の原理の中にたたき込まれた公的事業の成れの果てです。

「あまねく公平」「全国ユニバーサルサービス」を掲げた郵便事業は、そもそももつかる商売ではありません。

職場の圧倒的な人員不足は、ここに起因しています。民営化した会社は、コスト削減しか打つ手がないからです。「募集しているけど来ない」「これは方便にすぎません。もっと人員を減らし



民営郵政の合理化に怒りが噴出、英郵便労働者が12月ストへ（写真：配達事務所の外で組合会議を開くチェスターの郵便労働者【11月】）

たいのが本音です。

現場の私たちは、こうした会社の本音とは真逆で、「明日にでも欠員の補充をしろ！」が真実の声です。

会社の対処方針では  
交通事故はなくならない

相次ぐ交通死亡事に対する会社の対処方針は、社員への自己責任の押し付けだけです。

私たちは、出勤すれば目の前のブツをなんとか終わらそうと必死の形相で区分函と睨めっこしている。その最中に、安全スローガンの唱和、エアギターならぬエアバイク・エア四輪、郵便体操、全体朝礼になれば、しびれるほど長い管理者の演説。それだけでクタクタだ。さらに追い打ちをかけるように絶叫が始まる。

「安全最優先の業務を実践し事故災害を根絶し  
ようヨシ」

「あわてない、あせらない、今日もゼロ

災で行こうヨシ」

出発準備が終わり、いざ局を出ようとする



現場に力あり！  
（写真、73春闘・東京中郵で管理者に抗議）

と、出口には管理者が待ち構えている。いつ

たいどこまで仕事の邪魔をすれば気が済むんだ。そういう気持ちにさせておいて、事故で

も起こすものなら、鬼の首をとったように、事故事例研究会でつるし上げ。

こんな会社のあり方で、交通事故がなくなるはずはない！

残ったブツは  
管理者が配れ！

相次ぐ郵便物の放棄・隠匿に対して、会社の対処方針は、「区分函の引き出しにものを入れるな」「緊急ロッカー点検」これで、放棄・隠匿はなくなるのか疑問です。なんで、放棄・隠匿が起きるのか。それは、限界を超えた仕事量と共助共援・相手を思いやる心まで奪われた殺伐とした職場環境に起因しています。ここにおいても全てが自己責任で片づけられようとしています。

連日のロッカー点検をやる側の管理者ですら、「これじゃあ職員不審が広がる」と漏らしている始末です。一方で

職場の声は「俺は容疑者か？」です。

管理者は、「残ったブツは、俺のところに持ってこい。俺が配る」となせ言えないのか。それが出来ないなら、人を増やせ！

【裏面に続きます】



全国労組交流センター  
郵政労働者部会

東京都台東区元浅草2-4-10 伊藤ビル5階  
Tel 03(3845)7461 Fax 03(3845)7463  
URL: <http://www.k-center.org> E-mail [centergo@nifty.com](mailto:centergo@nifty.com)

2020年  
1月1日  
発行

（ピラの感想や職場状況、またピラに載せてほしいことなどを、気軽にお寄せください。電話・メールどちらでも結構です。）